

2024年3月期 第1四半期決算説明資料

2023年8月14日

株式会社イー・ロジック
東証スタンダード(9327)



目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 2024年3月期 第1四半期 決算概要
3. 2024年3月期 業績予想
4. トピックス
5. APPENDIX (参考資料)

1. エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー

- 第1四半期の業績は計画どおりに推移
- FC統廃合による固定費の削減および限界利益の改善は順調に進捗
- 景気の不透明感を鑑み、通期業績予想は据え置き

2. 2024年3月期 第1四半期 決算概要

2024年3月期 第1四半期 決算ハイライト

売上高

3,042 百万円
前年同期比 $\Delta 5.1\%$

営業利益

$\Delta 78$ 百万円
前年同期比 $\Delta 87$ 百万円

経常利益

$\Delta 76$ 百万円
前年同期比 $\Delta 91$ 百万円

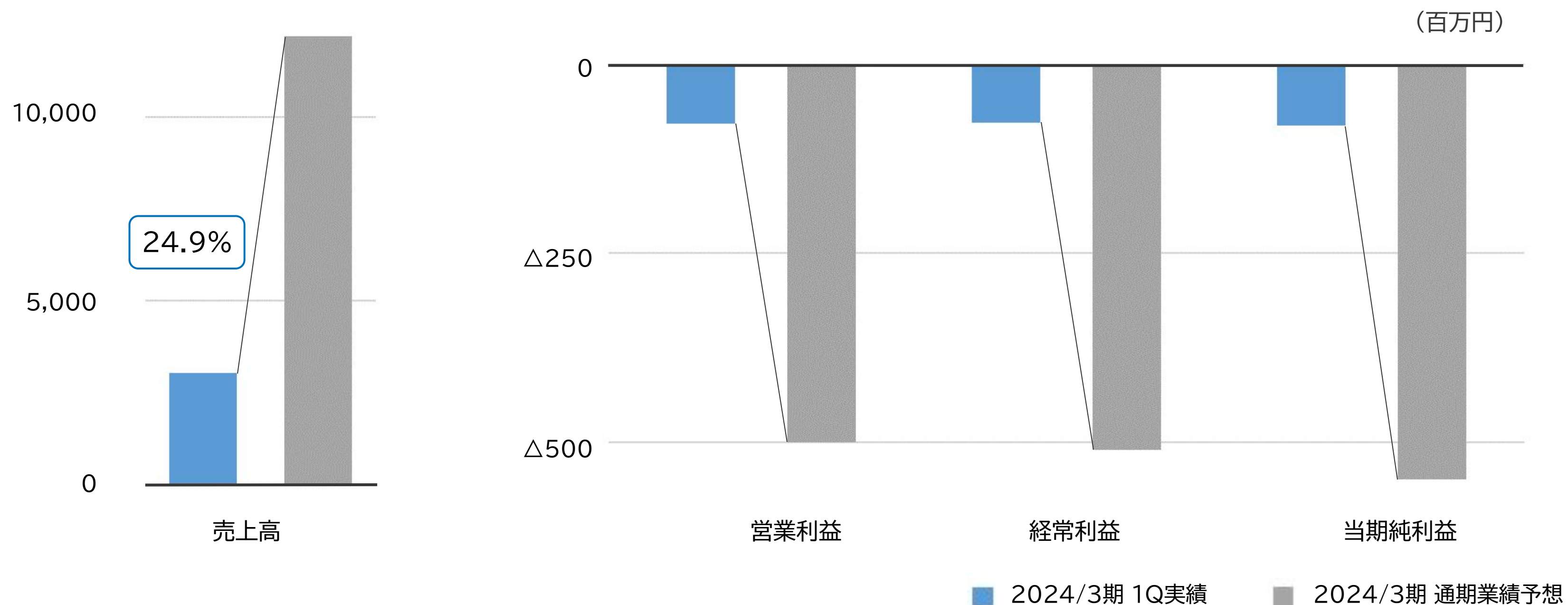
四半期純利益

$\Delta 81$ 百万円
前年同期比 $\Delta 90$ 百万円

- ▶ 売上高は、前年同期比では減収となったが、計画比では順調に推移し30億円を突破
- ▶ 営業利益、経常利益、四半期純利益は、前年同期を下回っているが、業績改善施策として掲げている固定費の削減、および限界利益の改善が功を奏し、期首計画の損失を下回るペースで進捗

通期業績予想 進捗率

- ▶ 売上高は計画どおりに進捗
- ▶ 営業利益、経常利益、四半期純利益は、期首計画の損失を下回るペースで進捗



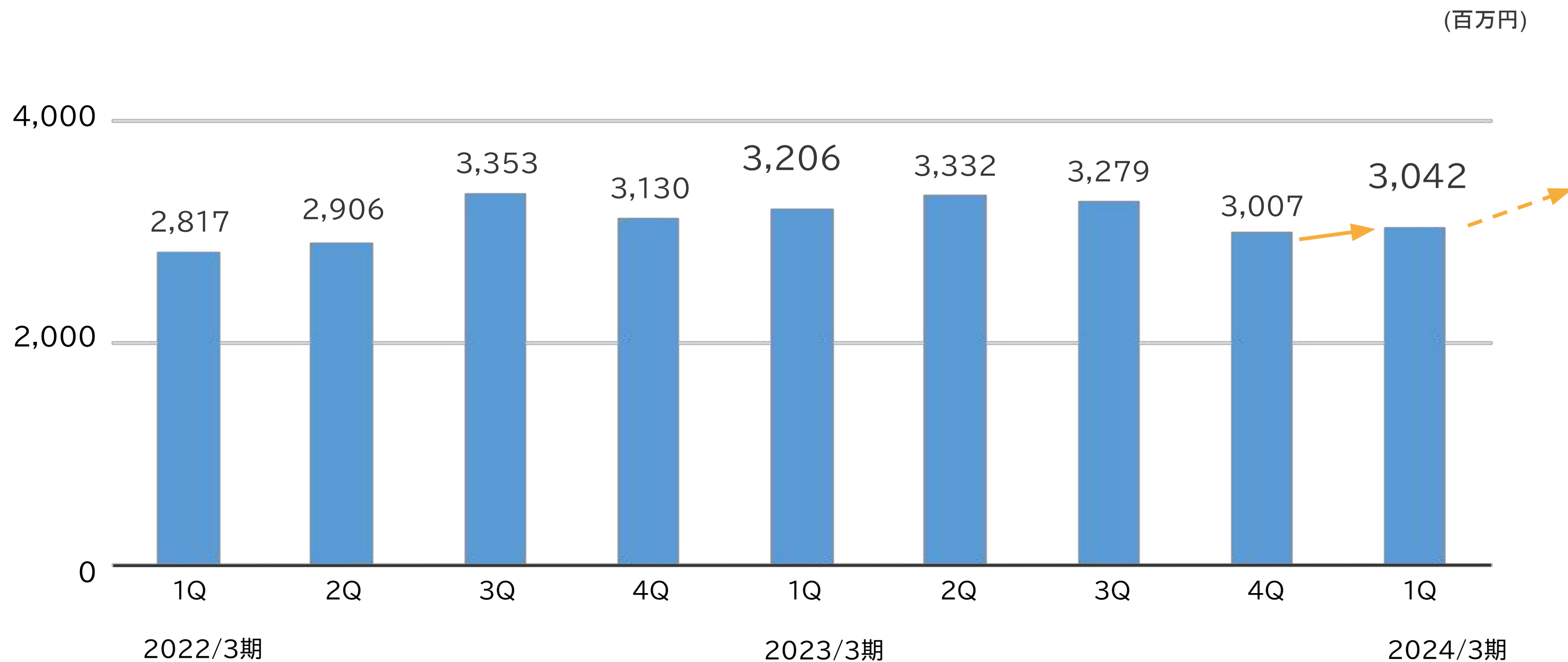
損益計算書

(百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前期比	
			増減	増減率
売上高	3,206	3,042	△164	△5.1%
売上原価	3,008	2,891	△116	△3.9%
売上総利益	198	150	△47	△24.0%
販売費及び一般管理費	189	229	+40	+21.2%
営業利益	9	△78	△87	—
経常利益	14	△76	△91	—
当期純利益	8	△81	△90	—

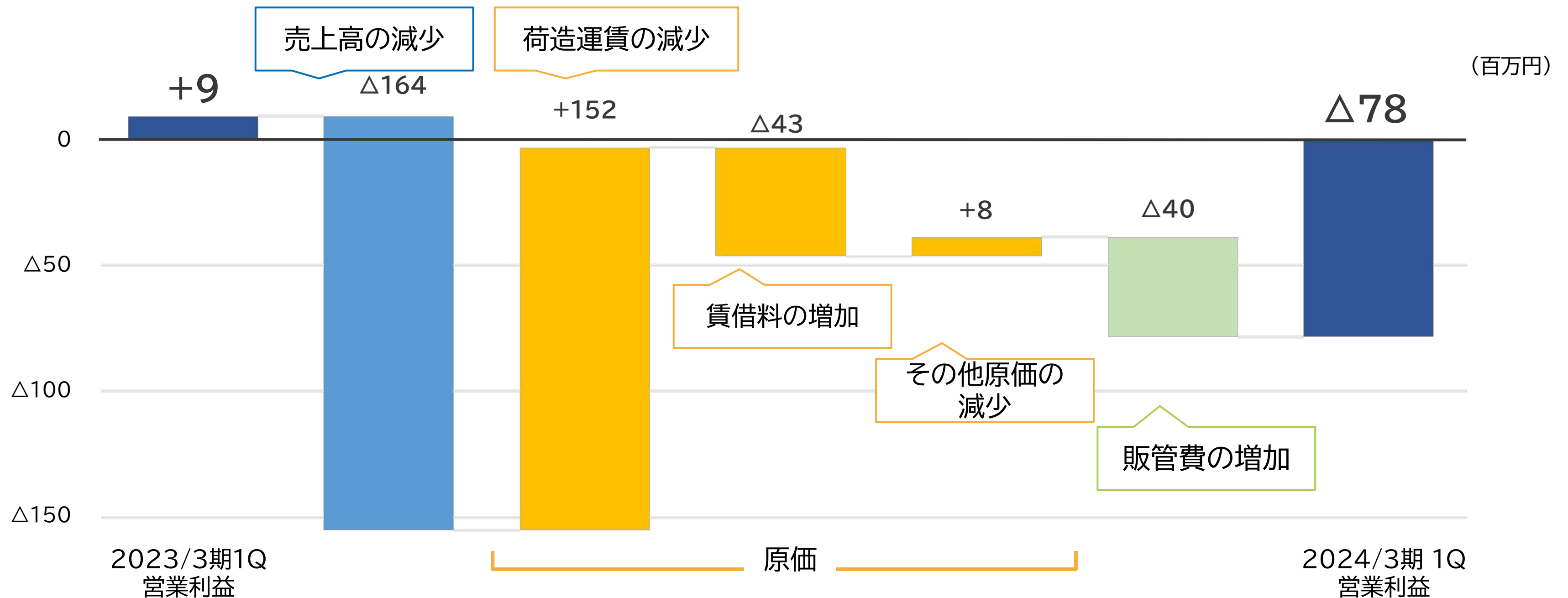
売上高 | 四半期推移

▶ 前年同期比では減収となったが、計画比では順調に推移し30億円を突破



営業利益 | 増減分析

1. 売上高の減少にともない、荷造運賃(原価)が減少
2. 販売費及び一般管理費の増加
 - a. 体制強化に向けた積極的な人材採用により、採用費および人件費が増加
 - b. 業務効率改善に向けた営業・運営支援システム(Salesforce)関連費用等が増加



貸借対照表 | 資産の部

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 第1四半期	前期末比 増減	主な増減要因
流動資産	3,449	3,071	△378	
現金及び預金	2,100	1,626	△473	
その他	1,349	1,444	95	前払費用の増加
固定資産	1,848	2,029	181	
有形固定資産	276	285	8	
無形固定資産	77	99	22	ソフトウェアの増加
投資その他の資産	1,494	1,643	149	投資有価証券(RENATUS ROBOTICS社 137百万円)の増加
資産計	5,297	5,100	△197	

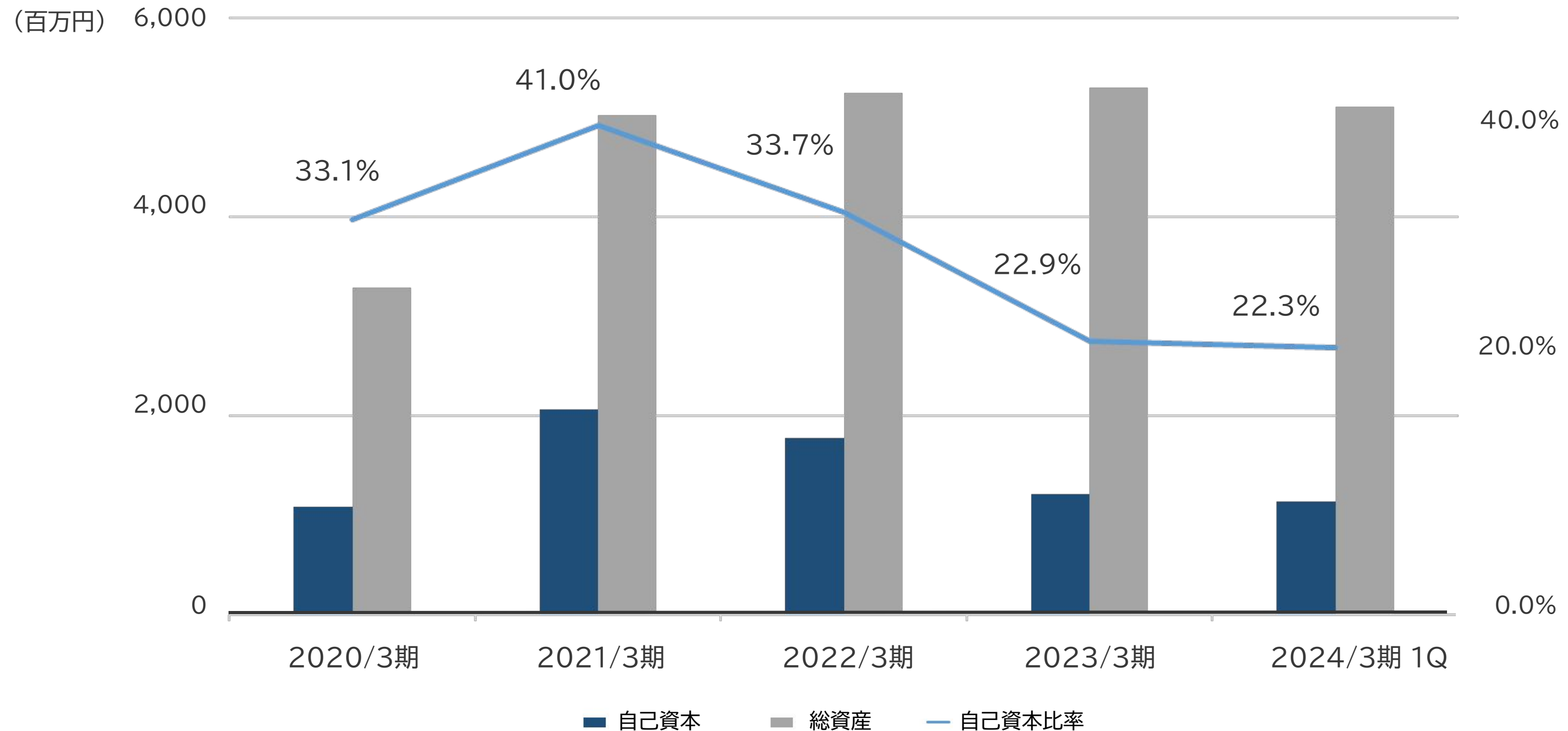
貸借対照表 | 負債・純資産の部

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 第1四半期	前期末比 増減	主な増減要因
負債合計	4,079	3,953	△125	
流動負債	2,841	2,954	113	未払金、資産除去債務の増加 賞与引当金の減少
固定負債	1,238	999	△239	長期借入金、資産除去債務の減少
純資産	1,218	1,146	△71	
株主資本	1,205	1,126	△78	利益剰余金の減少
評価・換算差額等	6	11	5	
新株予約権	7	8	1	
負債・純資産計	5,297	5,100	△197	

自己資本比率

▶ 事業の成長およびDX推進等への投資を継続し、早期の業績改善を図り、自己資本比率の向上を目指す



3. 2024年3月期 業績予想

2024年3月期 業績予想

(百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	前期比	
			増減額	増減率
売上高	12,825	12,200	△625	△4.9%
営業利益	△288	△500	△211	—
経常利益	△281	△510	△228	—
当期純利益	△565	△550	+15	—
1株当たり当期純利益(円)	△161.81	△157.26	—	—

(2023年5月15日発表)

4. トピックス

FC稼働率の向上 | 自動化等による出荷キャパシティの向上

▶ AI・ロボティクスベンチャー RENATUS ROBOTICS Inc.との資本提携およびRENATUS ROBOTICS株式会社と業務提携を実施

- ・RENATUS ROBOTICS株式会社が提供する、自動倉庫システム「RENATUS」の開発、運用、販売等に関して、業務提携基本契約を締結
- ・「RENATUS」の当社フルフィルメントセンターへの導入・立ち上げを進め、立ち上げ後は当社の荷主様に対して入出荷・保管サービスを提供予定

製品PV



システム紹介PV



(ご参考) 2023年5月15日付開示「RENATUS ROBOTICS Inc.との資本提携に関するお知らせ」
2023年7月31日付開示「RENATUS ROBOTICS株式会社との業務提携に関するお知らせ」

東京FCの閉鎖

- ▶ 2023年7月末に、東京FC(フルフィルメントセンター)を閉鎖
 - ・東京FCで行っていた業務を他のFCへ移管し、新しいロケーションで滞りなく稼動開始
- ▶ 東京FC閉鎖にともなう固定費削減効果
 - ・2024年3月期 : 約7,300万円(2023年9月末で賃貸借契約終了)
 - ・2025年3月期以降 : 約14,500万円(通期)
- ▶ 総延床面積の減少及び新規案件獲得による、坪当たり売上高の上昇

2023年3月期(実績)	▶	2024年3月期(予想)
約17,500円/月		約20,200円/月

約15%の増加を見込む

フルフィルメントセンター(FC)

総延床面積 56,100坪、全7拠点(関東:5拠点 関西:2拠点)を運営

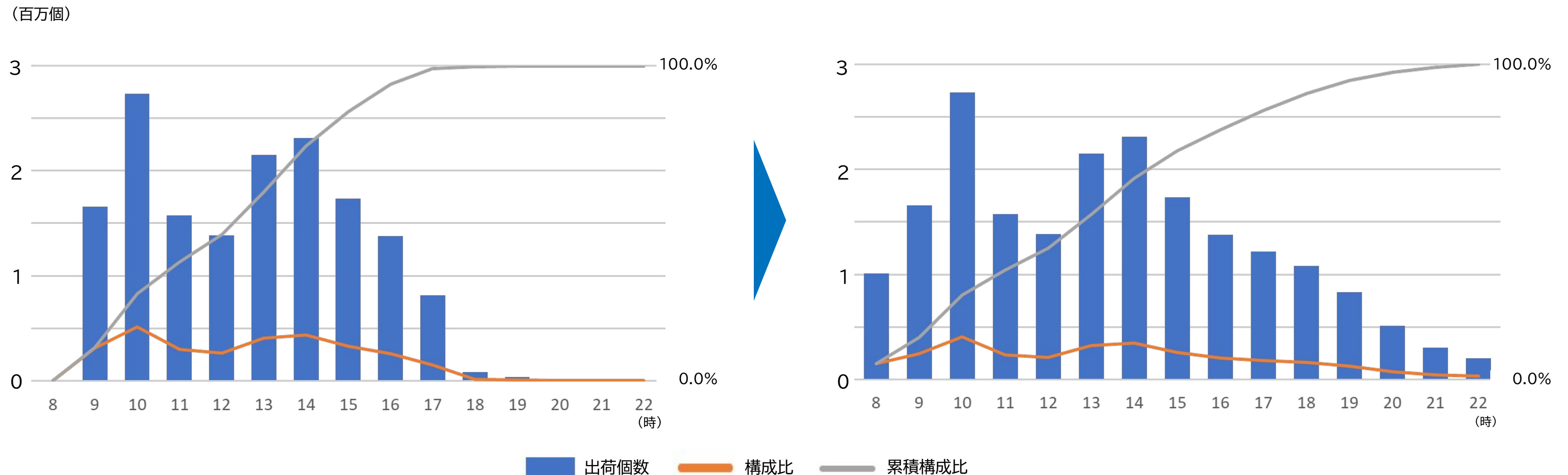


5. APPENDIX (参考資料)

FC稼働率の向上 | 稼働時間の増加

▶ FCの稼働時間を延長することにより、床面積当たり出荷個数の増加

⇒ 365日稼働に加え、将来的には深夜帯の出荷も視野に入れて、オペレーションを再構築



人的資本に関する取り組み

▶ 企業理念の浸透とエンゲージメント強化

- ・存在意義(パーパス)と働き方(バリュー・コンピテンシー)を再定義
- ・新しいパーパスに基づく評価制度を導入し、組織全体への貢献度を可視化し、社員のモチベーションとエンゲージメントの向上を目指す

▶ ダイバーシティ推進と人事制度改革

- ・ライフスタイルに合わせて柔軟に働ける環境を整えることにより、優秀な人材の獲得および定着率の向上を目指す

▶ 人材の育成・人材への投資

- ・研修制度の充実により、職位に合わせて業務スキルを向上できる自学の機会を提供
- ・公募制度の導入により、主体的に自らチャレンジできる環境を整備

会社概要

- 会社名 ▶ 株式会社イー・ロジット
- 設立 ▶ 2000年2月14日
- 代表者 ▶ 代表取締役社長CEO 角井 亮一
- 資本金 ▶ 527,047,600円
- 本社所在地 ▶ 東京都千代田区神田練塀町68番地 ムラタヤビル5階
- 証券取引所 ▶ 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:9327)
- 事業内容 ▶ BPO事業
 - ①通販物流アウトソーシング
 - ②物流コンサルティング
 - ③物流システム構築支援



(2023年6月30日現在)

免責事項・お問い合わせ

【免責事項】

本資料に記載された内容は、本資料作成時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した情報に基づいて作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、本資料の記載と異なるリスクや不確実性がありますことを、あらかじめご承知おきください。

【IRに関するお問い合わせ先】

株式会社イー・ロジット

経営管理部 E-mail:ir@e-logit.com

IRサイト <https://www.e-logit.com/ir/>

※お電話でのお問合せにつきましては、お問合せに対するご回答内容に差異や語弊のない適切な対応を行うため、お断りさせていただいております。ご理解ご協力の程お願い申し上げます。